



岩木山虹農園便り 26号

発行元 岩木山虹農園
弘前市葛原字大柳 171-1
TEL 090-3757-8174
Email oiwaki2021@outlook.jp
文責 前田 尚人

七月九日から雨模様で日照時間が少ない日が続き、七月二十二日、一気に梅雨明け宣言が出たとたん、日照りです。地球上の各国では大雨、山火事、熱波が続いています。日本でも大雨や熱波の報道がある中、津軽地方はまずまず平年並みかと思えます。野菜は火(太陽)と水のバランスが大事故と言われますが、草様はおかまいなくぐんぐん成長します。田圃に入り草を取り除く作業をしている間に、野菜畑の草様は野菜の背丈を越しました。素晴らしい! お見事! と言いたくなるほどの生命力です。その草様を刈り取り、野菜畝の上に厚めに乗せると水分蒸発を防ぎ、下草の勢いを防いでくれます。草に「様」をつける所以です。

第二回 配達

アロイトマト(自家採種十年目)

いくぶん大きめ。やさしい甘さ(糖度は6〜7度)があり、酸味とのバランスが良く食べやすいと思えます。「アロイ」はタイ語で美味しいを意味します。十年近くかかってやっと農園に定着してきました。冷やしてから食すとさわやかきな味を楽しめます。

※青めのトマトは二〜三日間追熟して食べてください。

菜豆は次のどちらかです

大平平菜豆(自家採種二年目)

いちぢ丸菜豆(自家採種二年目)

ささがきして炒めるのも、ゆでてから和え物にしたりお味噌汁の具としても合います。ほどよい甘さと豆の風味があります。茹で上がったところに塩をふりかけてそのまま食べるのも塩茹してそのまま食べるのでもいいです。筆者はシンプルにいただいております。

虹農園の茄子(自家採種十年目)

※房成真黒茄子・仙台長茄子

二種類の茄子を自家採種しながら栽培して七年目ですが、形状や成り方が似通ってきました。自然交雑して互いの特徴がまざりあったのでしよう。丸みを帯びたものや少し長めの茄子が混在していますが「虹農園の茄子」ということでお召し上がりください。

早生枝豆

雨少しですがどうぞ。

八月後半から早生茶豆、黒豆、茶豆と続きます。ご期待ください。

【お詫び】

配達予定のサヤアカネ(ジャガイモ)は、量が採れず配達できませんでした。今年初めて植えたジャガイモですが来年度の種イモになります。

第三回配達予定 七月二十一日(金)

品目

- ・胡瓜 ・トマト ・インゲン
- ・甜瓜(まくわうり)かプリンスメロン
- ・ピーマン

・とうもろこし(?) ・西瓜(?)
※とうもろこしと西瓜は配達しないのですが、狸さんとの兼ね合いがあります。どうなることやら。

希望の光



なにやら判然としない写真ですが、撮影技術が未熟なためです。これは田んぼに現れた(戻ってきた?)ホタルさんです。七月十二日の夜、畑にある小川にホタルの光が見えました。もしやと思い、五か所ある田んぼすべてを見回りました。すると農薬や肥料を入れない期間が長い二か所の田んぼでホタルの光がともっていました。ゆっくり乱舞し浮遊するような光の筋が妖しげです。死んだ人の魂が夏にホタルとなって戻ってくる母に教えられてから、そのようなものかなと思いついていました。五十数年前のことです。ホタルの光は、農薬や肥料が大量に投下される前(元々(代(寄)前)は、宵闇になるとどこでも見られた光景でした。当農園で行っている生産活動が、同時に地球の自然環境に寄与しているとしたら、小さいながら希望の光と思えて嬉しくなります。

たぬき様登場！

五月のはじめ、トウモロコシの畝^{うね}づくりをしていたころ、たぬき様が二度わたしのまえに姿を現しました。夜行性の彼らが夕方に姿を現すことが珍しいなと思いました。

昨年は西瓜ほぼすべてと、トウモロコシ五十本ほどをたぶんご家族で召し上がりしました。彼らにお手紙を書いた後、お詫び(?)の西瓜を二度畑に置かれるという不思議なことがありました。今年は別の畑にトウモロコシを植えたのですが、「今年も食べさせてね!」と、早々と姿を見せにきたのでしょうか。「ちゃんと準備してあるからね。」と呼びかけました。

西瓜やトウモロコシを植えている箇所はすべて狸様やカラス様が食べやすいように植え、その他はテグスを回して入れられないようにしています。ところが「それは通用しませんね。」ということなのでしょう。七月三十一日に三十本ほどの若い実を食べられました。そこで昨年同様、たぬき様に以下のお手紙を書き、畑に立てた棒に掛けおくことにしました。

お手紙

「たぬき様へ」

四月に種まきし、五月に定植したトウモロコシと西瓜をたくさん用意しましたが、もうすでに食べたようです。農薬も肥料も入れない清浄な食べ物です。美味しかったです。でもこれは野菜をお待ちのお客様たちに食べてもらおうとして、苗作りから精魂込めて栽培したものです。でもけして皆さんを忘れたわけではありません。いつものようにみなさん用の西瓜、トウモロコシがありますので、それでガマンしていただけないでしょうか。また、今年も食べ方が粗末です。どうせ食べるなら、あれこれ手を出さず、一本一本丁寧に食べてほしいのです。礼儀はわきまませよう。

自然環境を損ない、勝手気ままに生きてきた人のやり方については個人的に謝ります。でもこの畑では農薬や肥料で汚染された食べ物ではありません。このことは将来のみなさんのご子孫にとってもよいことではありませんか? ご理解とご協力をお願いいたします。

農園主 より」

続ホタルの話

右の写真は、ホタルを観て、帰ろうとしたときに軽トラックのナンバープレートにくっついて、明かりをともして待っていてくれたホタルさんです。人懐こさを感じます。

虫さんたちや動物さんたちとの交流も、人様との交流同様の感情を呼び起こされ、大きい楽しみの一つです。



食べ散らかされたトウモロコシ